

日本では「若者の博士離れ」が叫ばれる中、産官学がそれぞれ博士人材の処遇改善や活用推進に取り組んでいます。まだまだ博士がイノベーションの担い手として広く活躍できる社会とは言い切れないのが現状ではないでしょうか。

本シンポジウムでは、産官学がUnder-one-roofで博士人材に対する期待や課題について議論し、ともに博士を育み、活かすことのできる社会のあり方について考えます。また、筑波大学独自の「協働大学院方式」による博士人材育成の事例も紹介し、その魅力や課題も深掘りします。

ご所属を問わず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 令和6年 **10月18日**(金) 14:00-16:30

会場 **秋葉原コンベンションホール**

(東京都千代田区外神田1-18-13) ※ JR秋葉原駅(電気街口)徒歩1分

参加方法 **参加無料** / 登録はこちら ▶
<https://r2ec.jp/news/2863/>
 (10/15(火)〆切)



定員 **先着90名**

参加者

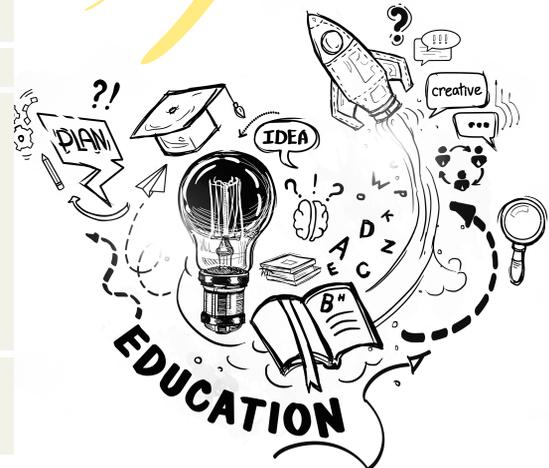
どなたでもご参加いただけます

特に企業の人事担当者・マネジメント層、大学関係者、政府関係者、メディア関係者など

プログラム

14:00-14:05	～ 主催者挨拶・趣旨説明 ～
開会挨拶	国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長 寶 馨 (コンソーシアム会長)
14:05-14:25	[博士人材の活躍に向けた政策動向 (官の視点)]
基調講演	文部科学省高等教育局 企画官(併)高等教育政策室長 高見 英樹
14:25-14:45	[博士人材の採用と活用 (企業の視点)]
話題提供 ①	NTT宇宙環境エネルギー研究所 所長 前田 裕二
14:45-15:05	[博士人材の育成と送り出し (大学の視点)]
話題提供 ②	筑波大学システム情報系 教授、システム情報工学研究群長 遠藤 靖典 (コンソーシアム副会長)
15:05-15:30	コーヒーブレイク
15:30-16:25	[博士人材の活用を再考する]
パネル ディスカッション	文部科学省高等教育局 企画官(併)高等教育政策室長 高見 英樹 NTT宇宙環境エネルギー研究所 所長 前田 裕二 株式会社東急総合研究所 研究部 主任研究員 真城 源学 筑波大学システム情報系 教授 遠藤 靖典 筑波大学システム情報系 教授、リスク・レジリエンス工学学位プログラムリーダー 岡島 敬一 (モデレーター)
16:25-16:30	～ 振り返りと今後の展望 ～
閉会挨拶	セコム株式会社IS研究所 甘利 康文 (コンソーシアム副会長)

博士人材の活用を再考する... 産学協働で描く イノベーター育成の道



主催

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム
Resilience Research and Education Promotion Consortium

共催

筑波大学
University of Tsukuba

問い合わせ先

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム事務局
 (筑波大学システム情報エリア支援室)
r2ec-sec@risk.tsukuba.ac.jp

